

## Injury Alert (傷害速報)

## No.67 医薬品の誤飲による意識障害, けいれん 類似事例 2(ビタミン剤)

事 例	年齢：1歳7か月 性別：女児 体重：8kg 身長：76.5cm	
傷害の種類	薬物誤飲	
原因対象物	<p>ビタミン剤 (27錠入り、写真1)</p> <p>製品容器 全体のサイズ：6cm×3cm、蓋は直方体に近い形状でサイズは縦2cm×横3cm×高さ2cm、容器はチャイルドレジスタンスではなかった、錠剤形状：白色円形、直径10mm</p> <p>成分 (3錠あたりの分量)：ベンフォチアミン(活性型ビタミンB1) (138.3mg)、ヘプロニカート (100mg)、シアノコバラミン (60μg)、トコフェロールコハク酸エステルカルシウム (51.79mg) など</p>	
臨床診断名	ビタミン剤誤飲	
医療費	4,870円	
発生状況	発生場所	自宅のリビング
	周囲の人・状況	生来健康で、成長発達に異常の指摘がない児。両親・児の三人暮らし。父は仕事で不在であった。リビングで児は独りでテレビを見ていた。約2m離れたオープンキッチンで母が家事を行っていた。
	発生年月日・時刻	2017年7月4日 午後1時30分
	発生時の詳しい様子と経緯	<p>自宅リビング内の高さ100cmのオープンラックに置いた蓋のない籠にビタミン剤の入った容器を収納していた。容器は開封済みで、ビタミン剤の残数は約17錠であった。午後1時15分頃、物音に気づいた母が振り返って状況を確認した際、オープンラックに置いていた籠が床に落下していた。児は籠の中から容器を取り出し手に取っていた。その時点では容器のキャップは開いていなかった。児をリビング内で遊ばせたまま、母は隣室で掃除を続けていた。</p> <p>午後1時30分、母がふとリビングを見ると、容器内に入っていたはずの錠剤2錠が床に落ちており、児がキャップを握り口腔内に錠剤を含んでいるのを発見した。容器は空だった。すぐに母が児の口腔内から13錠を掻き出し、床に落ちた2錠を回収した。午後3時すぎに医療機関を受診した。</p>
治療経過と予後	来院時にぐったりした様子はなく、バイタルサインは異常なかった。上記病歴から、ビタミン剤を最大で2錠誤飲した可能性があると推察された。有意な症状を認めず、診察でも異常所見を認めなかった。傷害予防教育を実施し、自宅経過観察の方針で帰宅となった。以降の再診はない。	



写真1. 対象となる製品容器